

広島県中小企業団体中央会 2014年12月分情報連絡一覧表

(食料品)

食料品

中国醤油醸造協同組合

12月の出荷量は前月比11.4%増加、前年同月比3.9%増加、売上高は前月比8.3%増加、前年同月比2.0%増加となった。

(木材・木製品)

木材・木製品

福山木材協同組合

秋から年末にかけては忙しかったが、11月の住宅着工が悪いため、1,2月は厳しくなりそうである。

広島県木材協同組合連合会

平成26年11月の全国新設住宅着工数は、78,364戸で、消費税増税前の駆け込み需要が多かった前年同月比では、14.3%減少となった。季節調整済年率換算値では88.8万戸(前月比1.8%減少)となった。利用関係別にみると、持家は24,462戸で前年同月29.3%減少、分譲住宅は20,000戸で前年同月6.0%減少、貸家は32,655戸で前年同月7.4%減少となった。木造住宅着工数は、45,101戸で前年同月17.7%減少となった。

住宅着工の動向については、リーマンショック以降、消費マインドの改善等により堅調に推移してきたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、前年同月比で減少となっている。

持家(注文住宅)の着工については、昨年(平成25年)10月からの受注減により本年(平成26年)2月から前年同月比で減少している。事業者からのヒアリングによると、慎重に検討し、決断を急がない顧客が多いとの見方がある一方、展示場来場者の回復傾向があり、今後の動向を注視する必要がある。

広島県内の着工数は1,305戸で前年同月比28.0%の大幅減となった。その内訳としては、持家が479戸で前年同月33.0%の減少で、貸家が618戸で前年同月21.9%の減少、分譲が208戸で前年同月27.8%の減少となった。

(化学・ゴム)

工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

上半期は、消費税増税前の駆け込み需要の名残もあり、前年度上半期と同程度の仕事量が確保できたが、下期は円安進行にもかかわらず、売上は対前年比マイナスとなりそうである。国内販売不振、現地生産への移行が要因と思われる。

円安も120円に近づきつつあり、輸出業界においても原材料、エネルギー費の増加等国内物価上昇の影響が心配され、行き過ぎではないかとの声が出始めている。労働者確保も不透明である。

プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

12月の自動車関連売上は、全体的に各社売上減の傾向にある。他は横ばい傾向である。

円安傾向及び原油安に伴うガソリン、重油等の価格安の傾向は、収益の面で良い傾向にある。石油化学製品や樹脂価格も安くなればもっと望ましい。しかし、急激な原油安は、国際的に不安定な状況を生み出しており、望ましいとは言えない。経営環境は厳しい状況にあり、更なるコスト改善への取り組みが各社求められている。

(窯業・土石製品)

窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

26年12月 3,259 m³ (対前年比 8.8%減少)

26年11月 3,276 m³

25年12月 3,573 m³

(一般機器)

一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

12月は年末までの大型物件が重なったため、前月比 20%増加、前年同月比 20%増加となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機関係のみ高操業である。タービン、コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械、搬送機器等は低操業の状況にある。

(電気機器)

電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

前月比、前年同月比共に変化なしとなった。人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰がこのまま続くようなので、収益や人員確保に大きな問題がでる。人材派遣会社の時給ベースが高すぎて通常では人が集まりにくい。年末の選挙は、無駄なことが多かったように見受けられる。

(輸送用機器)

輸送用機械器具(造船)

(社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、大きな変化はない。新造船については、平均約1年程度の内航船の手持ち工事量を確保しているが、人手不足が課題となっている。

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の平成26年12月の建造許可実績は11隻844,000総トン(前月6隻、304,500総トン、前年同月3隻87,150総トン)であった。なお、11隻の内、9隻が貨物

船、2隻が油槽船であり、このうち貨物船は6隻、油槽船は2隻とも輸出船となっている。

輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

円安による原材料の高騰により、収益性が悪化している。造船関連の受注は増加傾向であるが、収益性の見込みは低い。

輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

12月の国内自動車販売台数は全需が432千台、前年同月比2.1%増加と6ヶ月振りの前年超えとなった。登録車は前年比8.8%減少と5ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は18.5%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。

しかし、マツダ車は0.2%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの11月の全需は1,302千台で前年同月比4.6%増加と9ヶ月連続の前年越え。マツダ車は同2.4%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

欧州の11月の全需は1,248千台で、前年同月比0.1%減少と3ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は同7.0%増加と好調で19ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の11月の全需は2,352千台で、前年同月比15.0%増加。マツダ車は2.1%減少と9ヶ月振りの前年割れとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の11月の海外販売合計台数は93千台、前年同月比2.9%増加と17ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは北米・欧州向けの輸出台数が前年比で大幅なマイナスとなり、全体では前年比28.0%減少と4ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの11月の国内生産台数は、海外拠点での生産拡大により、輸出台数が減ったため、前年同月比26.6%と大幅な減少となり、3ヶ月連続の前年割れとなった。

（その他）

家具・装備品

広島家具工業協同組合

厳しい状況が続いており、前年実績を若干下回ったところで推移している。円安のため資材が高騰しており、各社価格改定も視野に入れている。1月から3月で1、2社価格改定を予定している。

（卸売業）

卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

12月は、公共料金・仕入商品の値上げ、さらには人件費の引き上げ等、中小企業にとって収支圧迫要因が増加している。今後は、大企業との賃金格差やパート従業員の確保等、人材確保面においても厳しくなる見通しである。

「資材関連」においては、消費税増税後の受注は低迷し、前年割れが続いている。円安による仕入れ商品値上げ、人手不足によりコストアップとなっている。

「食品」においては、売上は前年並みで推移しているが、輸送コストの引き上げの影響は大きく、収支を圧迫している。

「繊維」においては、婦人下着は百貨店売上が低迷しており、円安の継続等により、引き続き厳しい経営環境となっている。逆に円安が定着すると日本製ブランドの輸出を検討する業者もでてくるのではないかと見られる。

「雑貨」においては、日用雑貨は前年並みで推移している。メーカーが1月以降商品の値上げを表明しており、先行き不透明感が漂っている。

卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

昨年は、消費税増税前の駆け込み需要とアベノミクス効果の恩恵により好調に推移していたが、消費税増税後は、反動減により落ち込んできている。しかし、一昨年と比較するといくらかの伸びを示している

ようである。

10月の広島県住宅着工は前年比3.1%増加となったが、年度末に向けて電線、仕上げの配線、分電盤、照明等の材料が減販する予測に変わりはない。前年比ばかり目を向けず、地に足をつけ将来に向けた取り組みを行うことが必要である。

卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

年末でもあり、消費需要は少し持ち直した模様である。前月に比べ、受注は上向いた感じである。国内の消費地によっては若干の違いやばらつきは見られるものの、総じて堅調に推移している。

旧来は、「新畳で新年を」という需要もあったようですが、今は敷物の種類も多様化していることから、即畳表の需要に繋がる状況にはないのが現状である。

いずれにしても和の象徴である「畳文化」やその良さが再確認され、需要増・消費増へと繋がることで、生産地を潤し、国内のい草生産者の生産意欲が増す(温故知新)ものと期待している。

（小売業）

各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

毎月、食品と玩具の売上増加が続いている。衣料品は逆に売上減少が続いている。暖房で使用する重油が値下がりし、今期は燃料費の負担が軽減された。

チューリップチェーン商業協同組合

今月の売上は、前年比減少となった。これは、野菜の相場安が、大きく影響している。また、中山間地の店舗では12月は例年に比べて降雪回数が多かったため、家から車で出られない日もあり、客数が減少し、売上にも影響した。

年末商戦も年中無休24時間営業の店舗があるため、今ひとつ盛り上がり欠ける傾向が年々強まってきている。

家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

12 月度の販売実績は前年同月比 19.8%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比 18.5%減少、BD レコーダー同 36.9%減少、音響・車載機器同 28.4%減少、冷蔵庫同 15.4%減少、洗濯機同 21.3%減少、エアコン同 20.9%減少、エコキュート同 12.6%減少、IH クッキングヒーター同 14.6%減少となった。

年末商戦の目玉として、系列メーカーごと、個々に売り出しを行ったが、ほとんどの店が目標来客数を割り込んだ状況であった。しかし、太陽光パネル、オール電化などに取り組んだ店は、家電製品も付随して売り上げをのばしている。

(商店街)

商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

空き店舗の 1 つに 12 月、海軍カレー店がオープンし、空き店舗が 1 店減少した。また、若手店主たちでつくる「呉盛り上隊」が「れんがどおり大忘年会」を開催し、夜 10 時までの予定が 9 時前には全商品が完売となるなど大盛況であった。

年末の買い物客の減少が目についた。正月から営業する店舗があるためか、時代は変化しているようである。

(サービス業)

自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比 15.1%減少、前年同月比 2.1%減少。車検場収入は前月比 12.8%減少、前年同月比 0.9%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比 20.3%減少、前年同月比 5.3%減少となっている。

広告業

広島県広告美術協同組合連合会

材料支給の工事がますます増加しており、収益は低調である。人員を最低限におさえて外注(人材のみ手配)で対応するところが多い。

情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

この 1 年、景気上昇が伺えそうでもあったが、まだまだ中小企業まで反映しない状況であった。衆議院議員総選挙も終わり、来年に期待するところである。

(建設業)

工事業

広島県室内装飾事業協同組合

12 月の売上について前月比 27%減少、前年同月比 20%減少と大幅な落ち込みとなっており、累計前年比では 6%増加で推移している。

前月比で見るとカーテン工事は 21%減少、壁装工事 35%減少と大きな落ち込みとなったが、敷物は 50%増加と前月を大きく上回った。

前年同月比でもカーテン工事は36%減少、壁装工事13%減少と大きく落ち込んだが、敷物は112%増加と大きな伸びで推移している。

前年累計比で見ると、カーテン、壁装工事ともほぼ横ばいであるが、敷物が前年比15%増加と大きな伸びで推移している。各月ごとでは大きな変動があるものの、前年累計対比では6%増加の実績で、内装工事全体では若干の伸びである。

神辺建設業協同組合

各自治体の発注工事は年度末をひかえ、年度内工期などの要因から減少傾向にあり、今後小規模工事主体の案件が増加するものと思われる。

福山地区電気工事業協同組合

12月における工事受注件数は前月比7.9%増加、前年同月比14.4%減少となった。

(運輸業)

道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格が下がってきており、今後の収益への期待感が強まっている。

松永地区トラック事業協同組合

12月は繁忙期となり、輸送貨物は増加していたようである。大手運送事業者が12月の車両不足を予測し、早くから車両の確保に向けて手当をしており、そのため12月は輸送依頼が幾らあっても輸送車両が不足していたのではないかと思われる。

また、輸送車両も減少傾向にあり、トラック協会の会員数及び車両数も減少している。賃金が安いと、幾ら求人を出しても乗務員が集まらないのが現実のようである。

引き続き、原油価格が下がり軽油価格も下がっているが、運賃が上がっていないため、経営的には厳しく、忙しいわりに収入は上がっていないようである。

広島県ロジネット協同組合

12月は、荷動きの中でも特に自動車部品などは、堅調な動きを見せていたようである。円安でメーカーも様々な対応に追われている。荷物量の推移は例年通りであった。8日前後から増加し始め、14日から更に急激に伸び、18日をピークにその後一気に下がっていく傾向は昨年と全く同じ流れである。また、12月は月を通して車両不足ではあるが、昨年と比べて荷物量が増えた感じはなく、同程度であった。軽油価格は原油安の影響もあり、マイナス8円/Lと大幅な値下げ傾向が続いている。当面はまだ値下げ傾向が続くと思われる。

水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

燃料の高騰により燃料費のコストアップが続いている。

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は、公的評価報酬があり、前月比は売上高、収益状況、資金繰り共に増加している。前年同月比は 25 年末においては、固定資産評価報酬の内入金があったが、26 年末はその報酬分がないため、売上高、収益状況、資金繰り共に悪化している。